（令５）

国語採点基準

（総点100点）

〔注意〕１　この配点は、標準的な配点を示したものである。
２　定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
３　指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
４　定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
５　採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正答	配点
1 (1)	ていし	2
1 (2)	もけい	2
1 (3)	きそ(う)	2
1 (4)	のが(れる)	2
1 (5)	よくよう	2
2 (1)	緑茶	2
2 (2)	防(ぐ)	2
2 (3)	祝福	2
2 (4)	額	2
2 (5)	暮(れる)	2
3 (1)	ア	2
3 (2)	エ	2
3 (3)	イ	2
4 (1)	イ	2
4 (2)	ウ	2
1	したがいたまわず	2
2	ア	2
3	(例)農業が忙しい時期であり、間違いなく民の負担となるから。	2
4	ウ	2
5	エ	2
1	イ	3
2	(例)縄文時代の人びとは、土器に特定の生物を写実的に造形する能力と技術を持っていたが、あえて様々な生物に見えるようにしていた［　］ということ。	4
3	ア	3
4	エ	3
5 (I)	(答)共有	3
5 (II)	(例)人口が増えて複雑化した社会を調整し、まとめる［　］［　］	4
1	エ	2
2	イ	2
3	ア	2
4	ウ	3
5	(例)才能に気づいてくれた城戸先生だけでなく、心に届く言葉を教えてくれた妙春先生にも感謝していることを伝えたいという思い。［　］［　］	5
6	(答)涙ぐみそうになるのをこらえ	4
5	20	

（評価の観点）

１　形　式　目的に応じた適切な叙述であるか。
　　字数が条件に合っているか。
２　内　容　立場を明確にして、自分の意見をわかりやすく筋道立てて述べているか。
３　表現・表記　文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。
　　語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。

※これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。